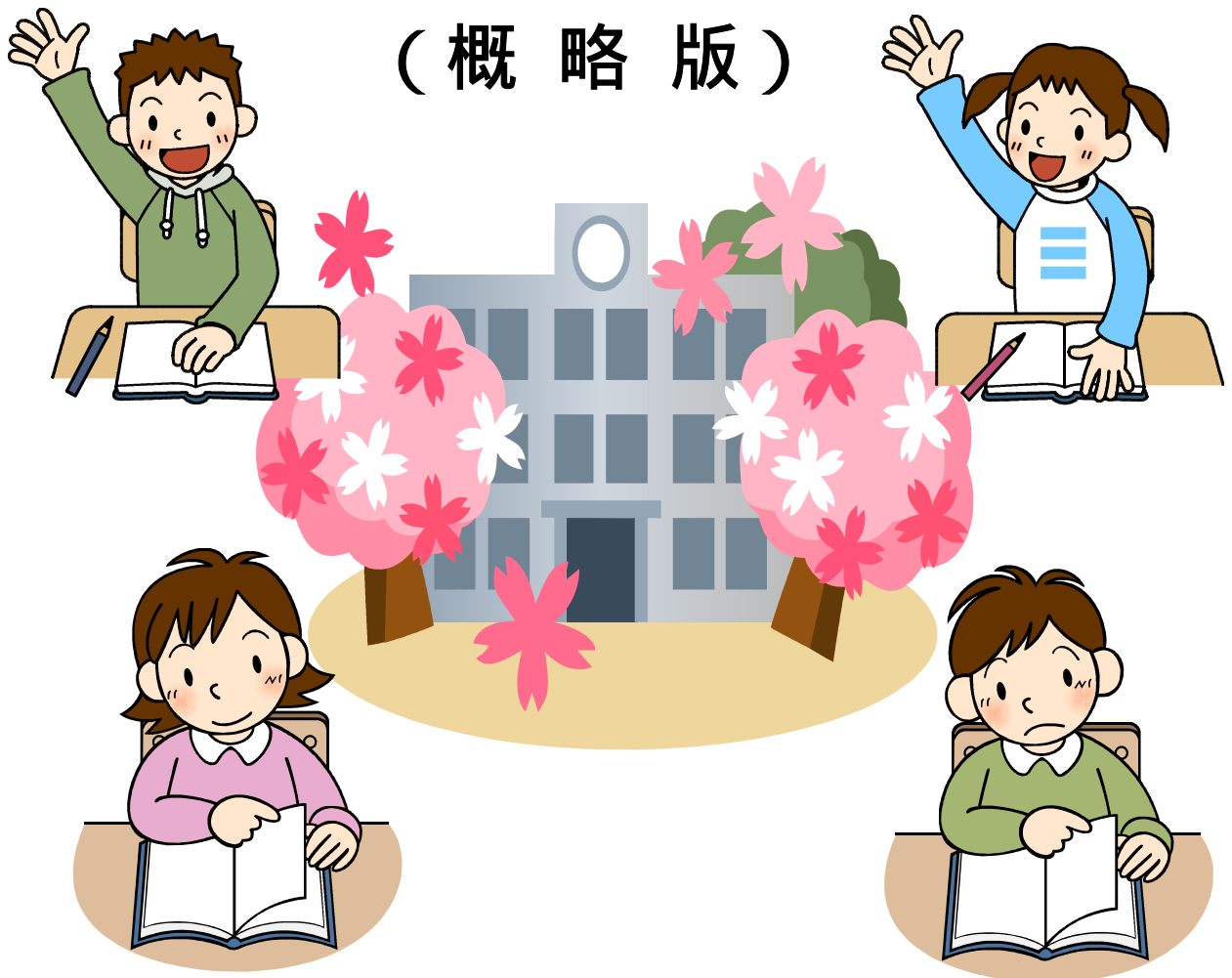


平成 2 2 年度

学校評価

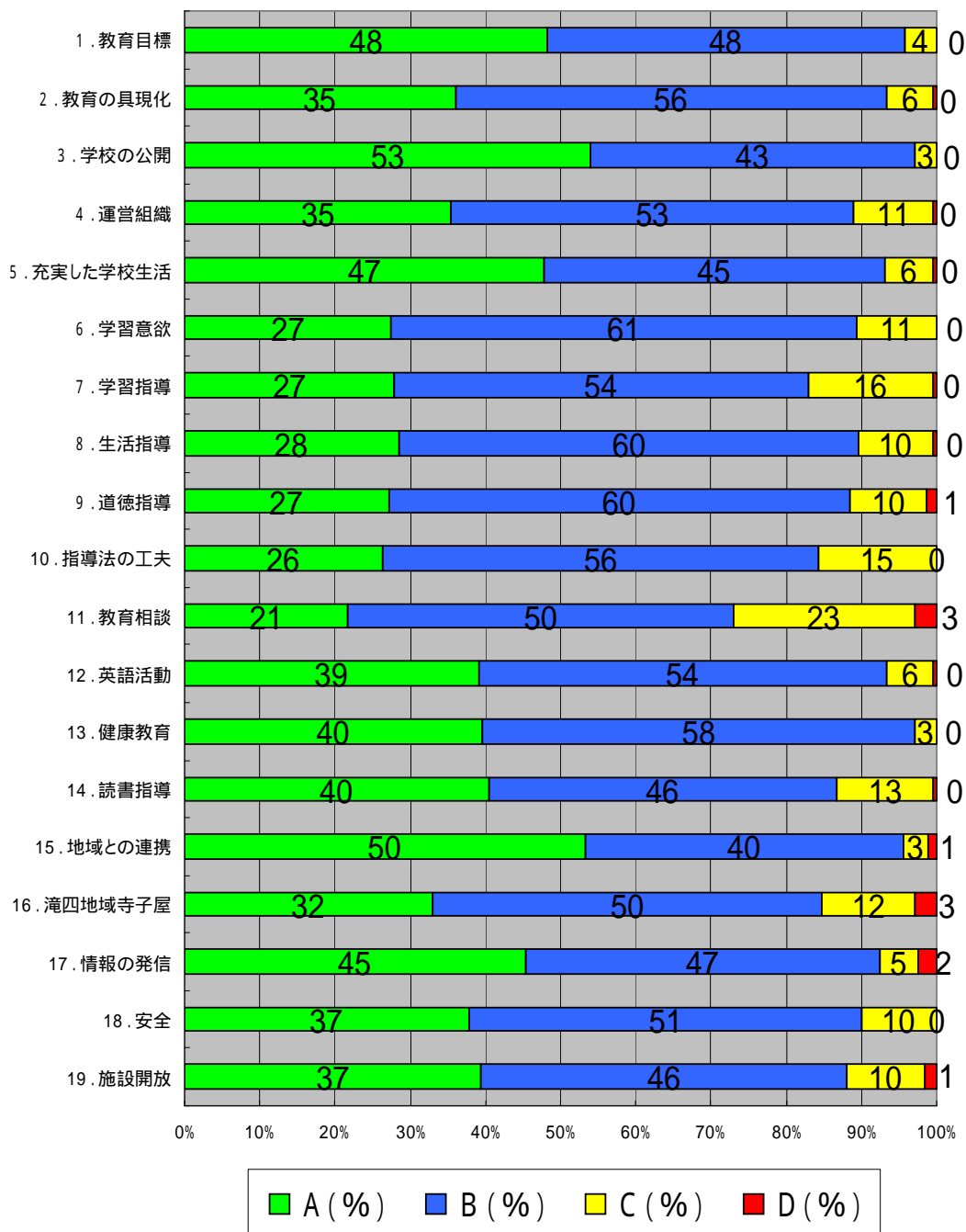
評価結果のまとめと改善策

(概略版)



北区立滝野川第四小学校

22 学校評価・保護者集計

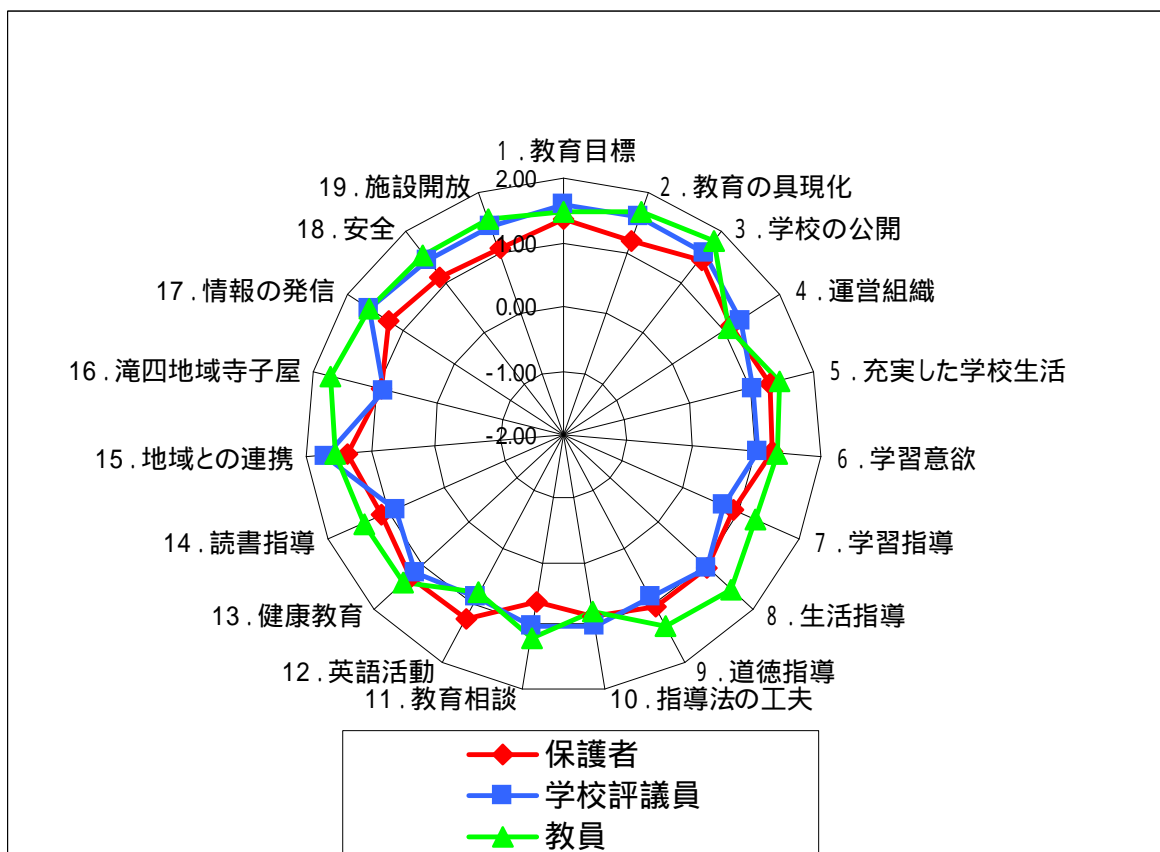


集計結果比較

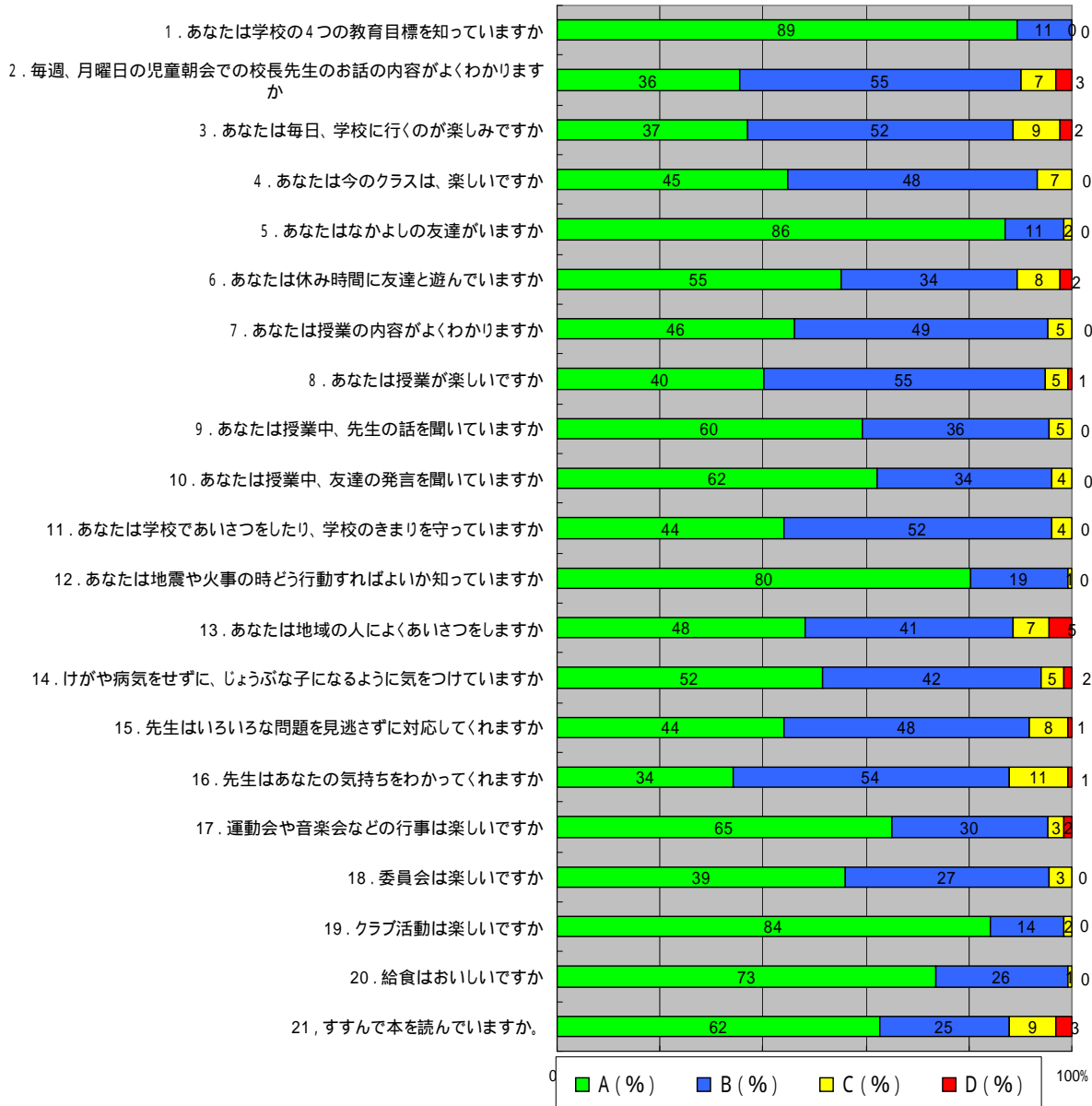
保護者、学校評議員、教員については、同じ評価項目で評価をしています。指数を比較しました。

	保護者	学校評議員	教員
1.教育目標	1.37	1.57	1.46
2.教育の具現化	1.20	1.57	1.66
3.学校の公開	1.46	1.57	1.80
4.運営組織	1.10	1.28	1.06
5.充実した学校生活	1.32	1.00	1.46
6.学習意欲	1.24	1.00	1.33
7.学習指導	0.91	0.70	1.26
8.生活指導	1.05	1.00	1.53
9.道徳指導	1.00	0.85	1.40
10.指導法の工夫	0.85	1.00	0.80
11.教育相談	0.66	1.00	1.20
12.外国語活動	1.23	0.85	0.80
13.健康教育	1.24	1.14	1.40
14.読書指導	1.11	0.85	1.40
15.地域との連携	1.34	1.71	1.53
16.滝四地域寺子屋	0.92	0.85	1.73
17.情報の発信	1.25	1.57	1.60
18.安全	1.14	1.42	1.53
19.施設開放	1.07	1.42	1.53

指数とは、それぞれの評価項目で、A（よくあてはまる）を+2点、B（あてはまる）を+1点、C（あまりあてはまらない）を-1点、D（まったくあてはまらない）を-2点として計算し、平均を出したものです。



22 学校評価・児童集計



【今年度の学校評価アンケート集計結果について】

今年度、各項目の内容を多少変更したことから、前年度との比較は行っておりません。

(1) 保護者・学校評議員・教職員からおおむね高い評価を得た項目
(A(よくあてはまる)・B(あてはまる)合わせて90%以上)

1. 教育目標
2. 教育の具現化
3. 学校の公開
5. 充実した学校生活
12. 外国語活動
13. 健康教育
15. 地域との連携
17. 情報の発信
18. 安全

19項目中9項目にわたり、90%以上の肯定的な回答が寄せられました。今後も一人一人の子どもたちの確かに成長した姿をお見せできるよう、教育活動のさらなる充実を図ってまいります。

(2) 評価の低かった項目(A(よくあてはまる)・B(あてはまる) 合わせて85%以下)

7. 学習指導
10. 指導法の工夫
11. 教育相談

児童に行った学校評価アンケートでは、「先生はあなたの気持ちをわかってくれますか」に対して4～6年の児童の15名がC(あまりあてはまらない)1名がD(全くあてはまらない)と回答していることを重く受け止めています。

次年度は、

学習指導の充実

教師一人一人が日々の授業を改善し、充実させることが何より重要なことととらえ、子どものよさ・個性・能力や可能性が十分発揮できるようにし、子どもが主体的に活動する授業へと工夫・改善していきます。

教育相談体制の充実

常に教員は、受容的、共感的な姿勢で子どもたちに接し、自らの大切さを認められていることを実感できるような環境作りに努めてまいります。

以上の2点を柱に学校改善に向けて教職員一同努力を重ねてまいります。

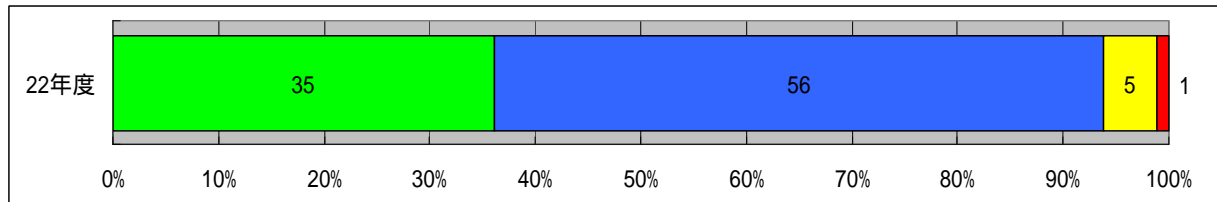
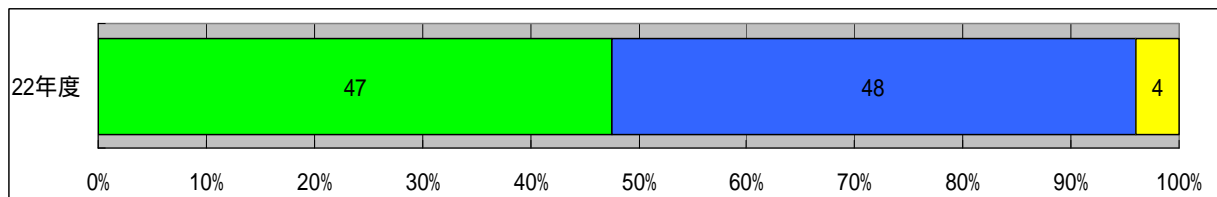
1. 教育目標、学校経営

1. 教育目標

学校便りや保護者会などで教育目標や教育方針を伝えられていますか。

2. 教育の具現化

学校は、保護者・地域の願いに応える努力をしていますか。



教育目標については、各教室の前面に掲示しています。始業式や終業式、児童朝会の折りに校長から子どもたちに話をし、子どもたちが、目標に近づけるよう意識を高めています。

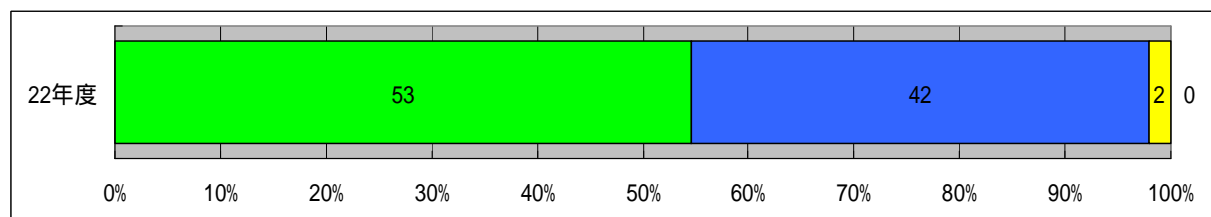
保護者の皆様へは、教育目標だけではなく、滝野川第四小学校としての教育方針を示した学校経営方針を第一回保護者会全体会で示しています。学校だより、保護者会資料などの印刷物でもお知らせするほか、ホームページにも掲載しています。学校要覧でも本校の教育について分かりやすく説明しています。

全校遠足に対してのご意見をありがとうございました。雨天延期の判断や実施方法について校内で検討し、改善に向けて努力してまいります。

創立90周年記念行事は、地域、保護者の皆様のご理解とご協力を得て、心のこもった充実したものになりました。お陰様で子どもたちは、学校や地域の歴史についての認識を深め、本校に学ぶ誇りと愛校心を養うことができました。

3. 学校の公開

学校は学校公開や授業参観などを通して、保護者や地域に開かれた学校づくりに努めていると思いますか。



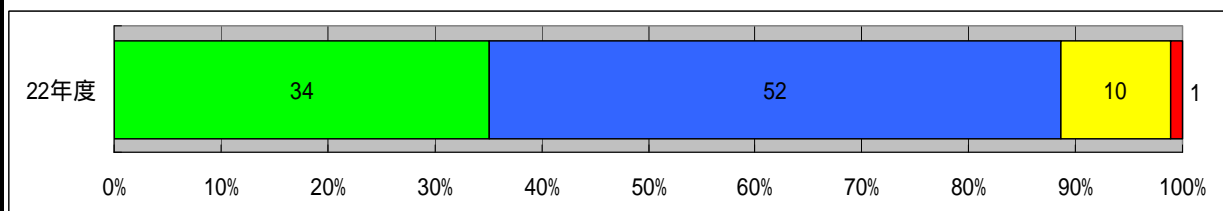
学校での子どもたちの学習や生活の様子を実際に参観していただく学校公開としての一日授業参観を年間7日間（6月・9月3日間・11月・2月）実施しています。運動会、音楽会、滝四まつり、なわとび大会、セーフティ教室、道徳授業地区公開講座などの行事、校内研究の研究授業も参観をしていただきました。

保護者会については、年間5回（4月・7月・10月・1月・3月）行い、学校の教育活動や児童の学習の様子を伝え、保護者の皆様からご意見をいただき、学校と家庭との共通理解のもとで、よりよい教育活動を進めていきます。

学校公開や行事の折りに、アンケートにご協力いただいているのですが、書いていただいたご意見を次の行事計画の見直しの際の参考にさせていただいております。

4. 運営組織

学校は、教職員が協力して学校運営にあたっていると思いますか。



滝野川第四小学校では、「教師は最大で最善の環境である」という理解のもと、目指す教師像として次の三点を挙げています。

子どもを愛し、教育に情熱を燃やす教師

教育の専門家として、常に研究、向上に努める教師

心身ともに健康で、人間関係を大切に、協力し合う教師

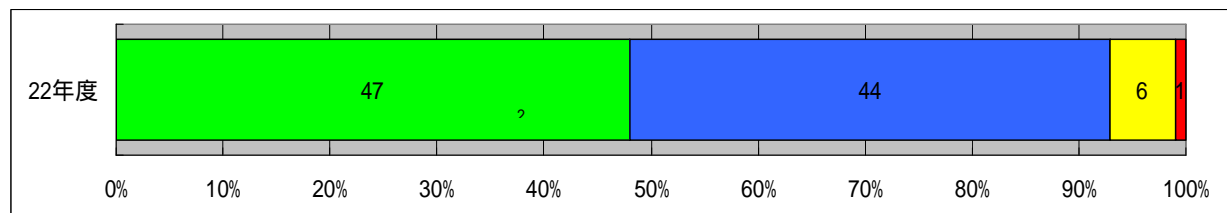
滝野川第四小学校の教職員はみな、情熱的で向上心をもち、協力し合う教師集団です。「みんなでみんなを育てる」ために、今以上に子どもたちとの信頼関係を築き、教職員同士がチームとしての力を発揮する全校的な体制で臨んでいます。

自由意見の中に「教職員の間で教育に対する考え方に温度差がある」とのご指摘をいただきました。子どもたちの指導等に関してどの学年のどの担任に尋ねていただいても同じ答えが返ってくるように、報告・連絡・相談を密に行い、より一層学校の組織としての協力体制を強固に築き上げていきます。

2. 教育活動、児童の様子

5. 充実した学校生活

毎朝、児童は喜んで登校していると思いますか。



学校は子どもたちのためにあります。学校に受容的、共感的、肯定的な雰囲気があふれる時、全ての子どもにとって、学校は楽しく、やりがいや生きがいのある場所となります。

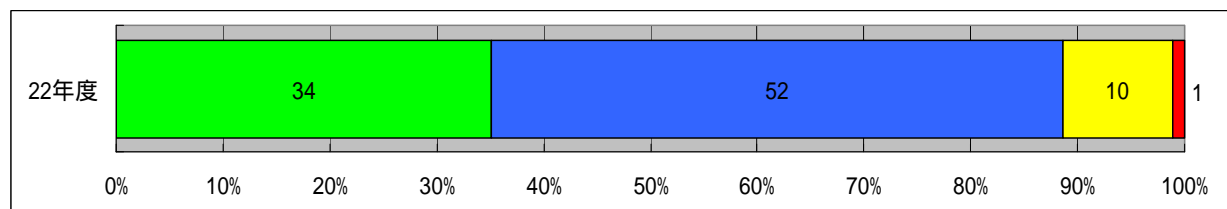
自由意見の中に、「子ども一人一人に合わせた指導にとってもとても力を注いでいただいていると感じます。」という良い評価をいただいたことを嬉しく思いました。

一方で、「一番に願うことは学校は楽しく学ぶところであってほしいことです。先生方も子供たちもみな笑顔で学習してほしいです。」というご意見をいただきました。また、4・5・6年の児童による学校評価アンケートでは、「あなたは毎日、学校に行くのが楽しみですか」の設問に11%の児童がC・Dの評価をし、「あなたは今のクラスは楽しいですか」の設問に7%の児童がCの評価をしていることを重く受け止めています。

一人残らず、全ての子どもにとって「通ってよかった学校」、保護者にとって「通わせてよかった学校」となるよう、教職員一同、これまで以上に最善を尽くしてまいります。

6. 学習意欲

児童は全体として学習に意欲的に取り組んでいますか。



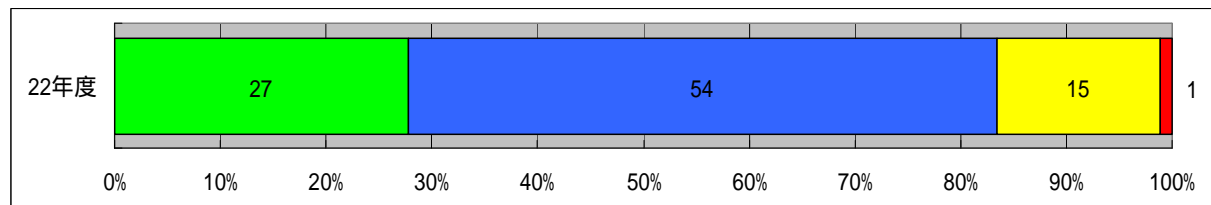
滝野川第四小学校では、教育目標のひとつに、「進んでやる子」を掲げています。「進んでやる子」とは「どんなことにも意欲と自信をもって、進んで実践し、生涯にわたって人間性豊かに、主体的、創造的に生きることのできる子」です。学校生活全般を通して、子どもの意欲を認め励まし評価することで、学習にも意欲的に取り組む子を育てていきます。

そのためには、教師も授業改善の努力を重ねていくことが不可欠です。子どもの学習意欲を引き出すために、教材や資料の吟味をしたり、発問を工夫したりしながら、楽しく、そしてよく分かる、魅力ある授業づくりに努めています。

自由意見の中に「学年が変わっても、宿題の数や量など変わらずに学習意欲を保持、向上して欲しいと思います。」とありました。それぞれの学級の実態に応じて宿題の出し方にも工夫をしているところではありますが、宿題の数や量など担任によって大きな差が出ないように効果的な宿題の出し方を検討し、実践していきたいと考えています。

7. 学習指導

児童が課題をつかみ解決してけるような分かりやすい授業の工夫が見られますか。



保護者・学校評議員による評価では、C評価が15%、D評価が1%と低い評価になっていることを大変重く受け止めています。

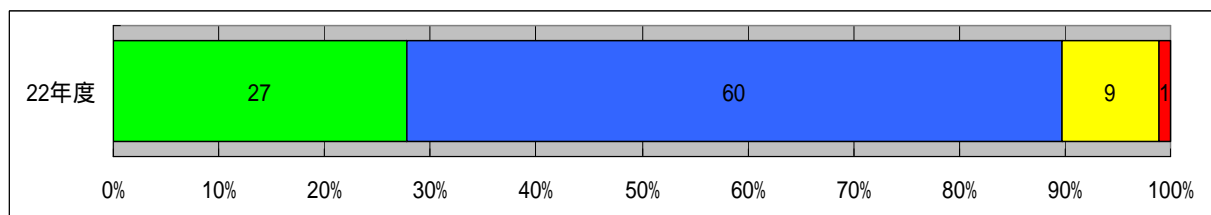
本校で、子どもたちに身に付けさせたい確かな学力の要素とは、
生涯にわたり、学習や生活の基になる力
基礎的、基本的な知識や技能を活用して課題を解決する力
自ら進んで学習に取り組もうとする意欲

の三点です。こうした学力を、子どもたちに確実に身に付けさせるためには、教師一人一人が日々の授業を改善し、充実させることが何より重要なこととなります。来年度は、子どものよさ・個性・能力や可能性が発揮できるようにし、子どもが主体的に活動する授業へと工夫・改善していきます。

滝野川第四小学校では、『授業改善推進プラン』を策定しています。「楽しい授業」「指導法の工夫」「個に応じた指導」を目指し、教育のプロとしての自覚をもち、来年度は今年度以上に全校体制で授業改善に本気になって取り組んでまいります。

8. 生活指導

学校では、児童の日々の様々な行動に対し、適切に指導していると思いますか。



社会問題ともなっている「いじめ」の問題については、本校では一件も発生していませんが、生活指導上の様々な問題に対しては、早期発見、早期解決を合い言葉とし、それぞれの問題に迅速に対応をしています。『心の教育推進プラン』を策定し、問題が起きないように、未然に防ぐ努力をしています。

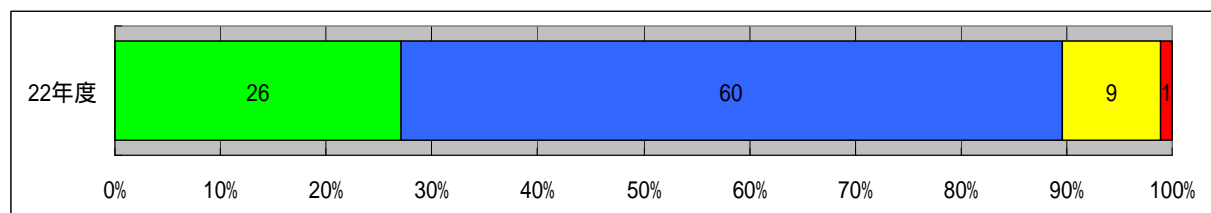
自由意見の中で「あいさつのできる子どもたちが少なくなっている」というご指摘をいただきました。ご家庭と協力しながら、気持ちの良いあいさつのできる子どもを育ててまいります。

児童に行った学校評価アンケートでは、「先生はあなたの気持ちをわかってくれますか」に対して4～6年の児童の15名がC（あまりあてはまらない）1名がD（全くあてはまらない）と回答していることを重く受け止めています。

常に教員は、受容的、共感的な姿勢で子どもたちに接し、自らの大切さ認められていることを実感できるような環境作りに努めてまいります。

9. 道徳指導

児童の道徳性を高めるための道徳授業や道徳指導が行われていると思いますか。

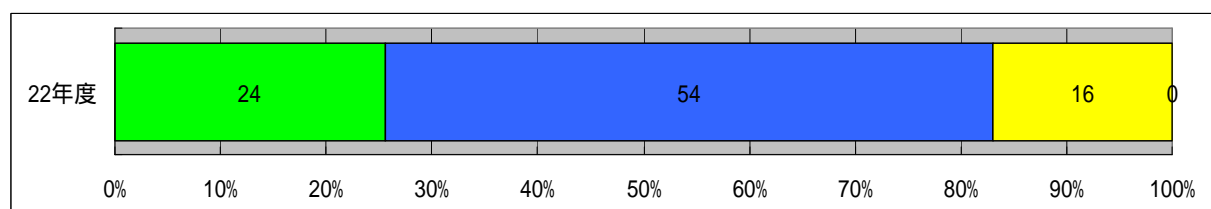


社会全体が道徳教育の充実について、学校に期待を寄せています。年間35時間の道徳の時間はもちろんのこと、全教育活動を通して、子どもたちの道徳性を高めるための指導を繰り返し行っていきます。「生命の大切さを知り、心身ともに健康で、安全な生活を送り、体力の向上を図ることができる子」、「豊かな心もち、自他の人格を尊重し、相手の立場に立って、物事を考え、判断し、行動できる子」を育てていきます。

学校では、毎年一回、道徳授業地区公開講座を実施しています。学校・家庭・地域社会における道徳教育の在り方や連携について理解を深めていただくために、全学級が道徳の授業を公開しています。今年度は9月15日に実施し、外部講師を招いての講演会には地域から1名、保護者の方には14名参加していただきました。外部講師の方から「児童理解とかかわり方」について大変よいお話をしていただき、大変好評でした。来年度は、より多くの方に参加していただきますようご案内申し上げます。

10. 指導法の工夫

チームティーチングや少人数学習など、個々の児童に応じた授業が行われていると思いますか。



この項目は、保護者の方々の評価が低く、結果を重く受け止めています。指導法の工夫は、算数少人数学習に限らず、どの授業でも行っています。「基礎的・基本的な内容を身につけ、個性を伸ばし、自ら学び、共に高め合いながら学び続ける子」を育てるため全教員で授業改善に真剣に取り組んでおります。

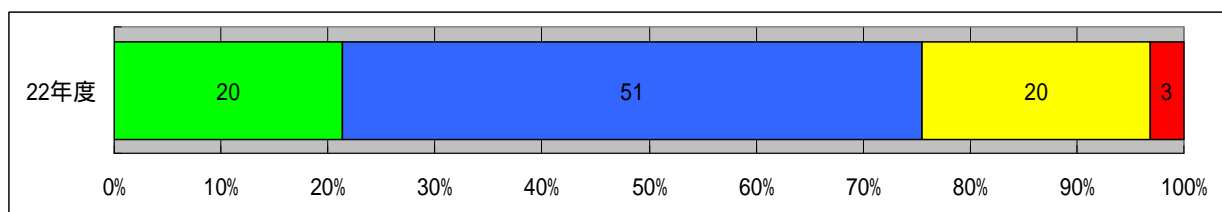
算数少人数については、自由意見の中に「担当の先生によって理解に差がある」とありました。担任と少人数担当教員が打ち合わせを十分行い、児童の理解が深まるような授業の工夫をしております。また、習熟度別の授業では、子どもたち一人一人の理解に応じた指導を徹底していきます。

授業改善に向けての取り組みとして、校内研究があります。日々の授業を真摯に振り返り、授業改善を行うことで、よりよい授業の在り方をさぐり、教職員一丸となって、教師としての指導力、授業力の向上をめざしています。

さらに、他の学校にはない、本校独自の取り組みとしての「たきよん のびのびプリント」の活用もさらに進めてまいります。

11. 教育相談

児童の心の問題に対応する体制が整っていると思いますか。



全項目中、最も低い評価となりました。相談は個人的なことであり、他の保護者の方々の目に触れることもありませんので、評価のポイントが上がらないということも考えられます。

週1回巡回スクールカウンセラーが勤務しております。巡回スクールカウンセラーの定期的なお便りや毎月の学校便りで勤務日をお知らせしています。子どもたちや保護者の方々の相談にいつでも応じられるように、勤務日以外でも副校長に連絡していただければ、すぐに対応することができますので、気兼ねなくご相談していただくと幸いです。

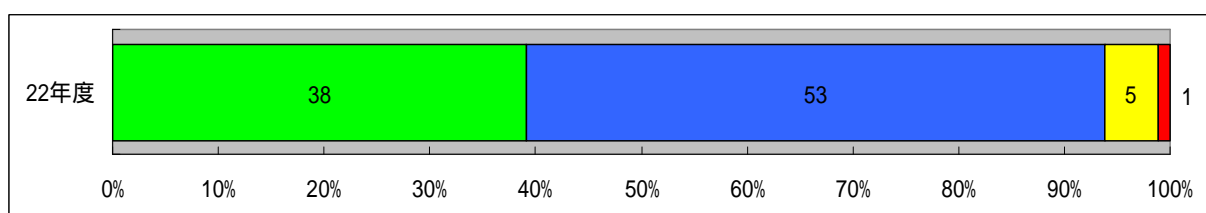
本校では、教育相談の校内体制として、特別支援教育校内委員会を設置し、特別支援教育コーディネーター（生活指導主任）を中心に、年間を通して、子どもたちの心の問題に対応しています。『心の教育推進プラン』の中でも、教育相談は大きな柱のひとつです。

来年度も、生活指導との関連を図りながら、教育相談の体制をさらに強化していきます。当然のことではありますが、担任による日々の指導や教育相談の内容面をさらに充実させ、一人一人の子どもたちの心の問題に対応していかれるようにします。

3. 特色ある教育活動

12. 外国語活動

外国語活動において、ALT（外国人講師）を活用し、児童は楽しく学習していると思いますか。

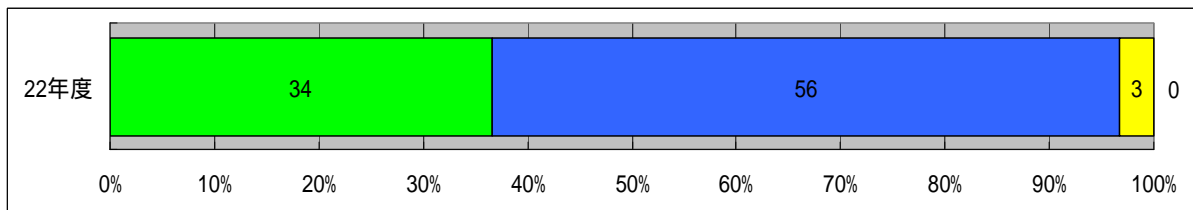


外国語に親しませ、コミュニケーション能力の育成を図るため、新学習指導要領の先行実施として、5、6年生は35時間、1から4年生は20時間の外国語活動（英語活動）を行いました。そのすべての時間にALT（外国人講師）の協力が得られています。5、6年生全員には文部科学省から「英語ノート」が配布され、本校でも十分な活用を図っているところです。学校公開日には、実際の授業の様子を見ていただく機会を設けました。

授業を進めていくのは、学級担任です。ALT（外国人講師）との綿密な打ち合わせを行い、今後も積極的に英語活動に取り組む子どもたちが増えるよう教職員も研鑽を積み、指導技術を向上させてまいります。

13. 健康教育

体育的行事や保健、栄養指導などを通して、児童の心と体の健康増進が図られていると思いますか。

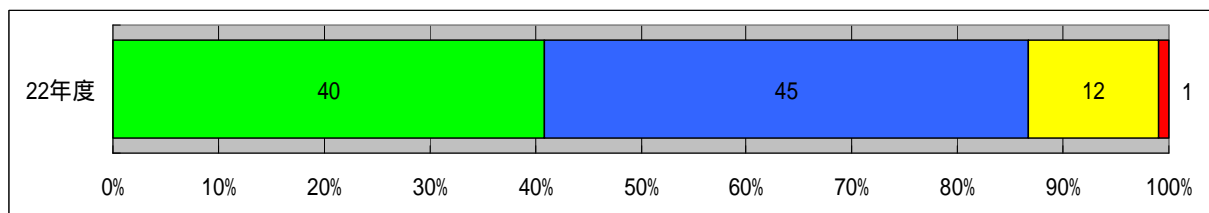


体育の授業のほか、6年の水泳・陸上記録会への取り組みや、運動会、なわとび大会などの体育的行事を通し、子どもたちの体力増進を図っています。また、養護教諭が授業として保健指導を行ったり、食育推進委員会を設置し食育の全体計画を作成し、「食」を通じた健康指導を行ったりしています。

心と体の健康は、確かな学力のもととなるものです。来年度も、子どもたちに目標をもたせ、正しい生活リズムを身に付けさせ、心と体の健康増進に取り組んでまいります。

14. 読書指導

全校朝読書、読書旬間、読み聞かせなどを通して、読書好きな児童が育っていると思いますか。



自由意見の中に、「朝読書に行き読み聞かせをすると子どもたちが身を乗り出して聞いてくれます。とても素晴らしい活動であり読書好きが増えるよいきっかけなのではないかと思いました。」というご意見があり、着実に成果が上がっていることを実感しております。

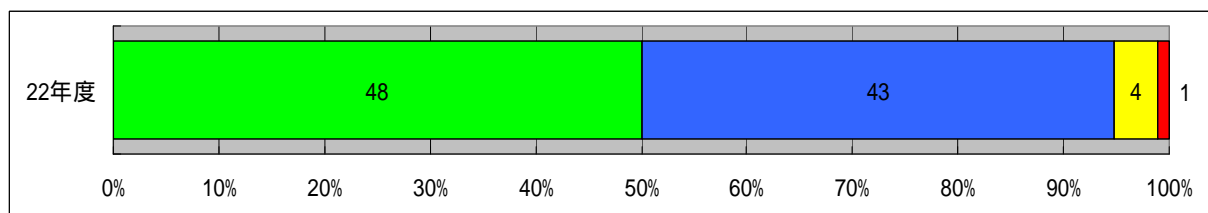
今年度も週2回の全校朝読書や、12月上旬の読書旬間とそれに伴う読書感想文や本の紹介活動、読み聞かせ活動、ブックトーク、エプロンシアター、パネルシアター、ポスターセッション、アニメーション等の読書活動を実施してきました。

各学年とも、朝読書の時間における「読み聞かせ活動」では、全学年の保護者の方の協力を得て、親から子への温かな読み聞かせを行うことができました。来年度も、「読み聞かせ活動」のさらなる充実を図っていきたいと考えています。ご協力をどうかよろしくお願い申し上げます。

昨年度は、北区教育委員会との連携のもとで、図書室の改修工事が行われました。子どもたちの読書意欲をさらに喚起できるような読書環境が整いました。読書活動についても、地域図書館との連携をさらに強め、本校の特色ある教育活動としての読書指導の充実を図っていきます。

15. 地域との連携

学校は、地域とかかわり、地域に根ざした教育活動を推進していると思いますか。

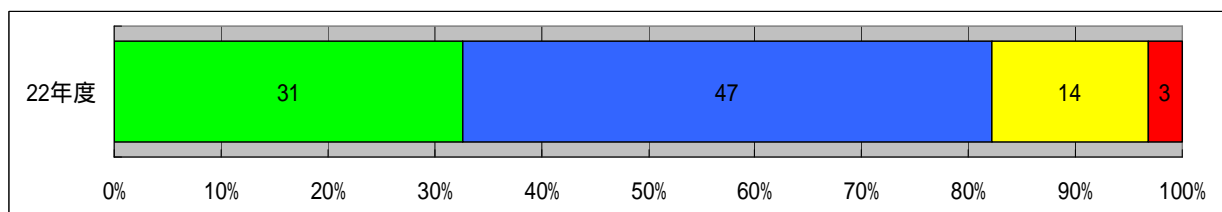


今年度も親子スポーツ大会、夏休みラジオ体操、地域運動会、秋のペタンク大会、みんなで町をきれいにする運動などの地域行事に積極的に参加するよう、子どもたちに呼びかけてきました。自由意見の中に「滝四は学校と地域がタッグを組み、より良い学校作りの活動をされる素晴らしい学校だと思います。」とあり、地域との連携の成果を実感しております。地域行事には、教職員もできる限り参加をしています。多くの子どもたちが地域を愛し、地域に育てられているという実感をもっています。今後も、地域を大切にした教育活動を推進してまいります。

また、学校評議員については、今年度も地域代表の方や保護司、地域児童館長にも参加していただきました。来年度も地域の方々を評議員として迎え、学校の教育活動の実際をより多く見ていただく努力をいたします。そして、学校評価における外部アンケートの結果をもとにした話し合いを充実させ、本校のよりよい教育活動のあり方について、これまで以上に建設的なご意見を得られればと考えております。

16. 滝四地域寺子屋

「滝四地域寺子屋」との連携を密にし、学習習慣の定着が図られていると思いますか。



寺子屋は、学校が休みとなる土曜日に子どもたちが生き生きと過ごすことができる居場所づくりとして行われている事業です。授業の復習や補習もできる自由な学習の場でもあります。講師は毎回3名いて、学習タイムには、一人一人の子どもたちの質問に答えています。

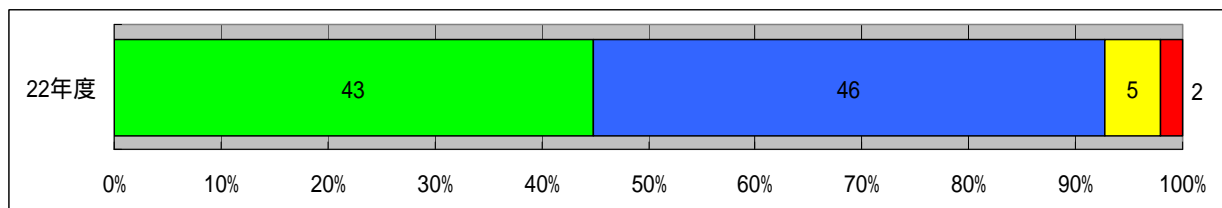
今年度は4月から3月まで、30回の実施です。今年度の参加人数は、平均53名となっており、たくさんの参加者が、前半の学習タイム、後半のレクリエーションタイムを楽しく過ごしています。前半の学習タイムでは、それぞれが持ち寄った課題に取り組んでいます。学校の宿題に取り組んでいる子も多くいます。「たきよん のびのびプリント」を活用し学習タイムの充実が図られています。レクリエーションタイムでは、毎回違った活動を準備し、子どもたちの様々なニーズに応えています。今年度は、「田端の歴史を学ぼう」や「絵手紙教室」、「英語教室」や「ラグビー教室」などの新しい企画を取り入れ、子どもたちに人気でした。

運営補助（受付）を地域の各町会や民生委員、青少年委員の方々に担当していただいたり、広報活動を充実させたり（寺子屋便りの地域への配布、ホームページでの活動紹介）しています。今年度も、運営委員として、12名の保護者の方々にも参画していただくことができました。

来年度は、年10回の土曜授業が始まり、それに伴い寺子屋の回数も減りますが、地域や保護者の方々により一層のご協力をいただき、さらに運営面での改善を図っていきたく考えています。より多くの保護者の方々の運営参画を希望しています。

17. 情報の発信

学校は、学校便り、学年便り、ホームページなどを通して、適切に情報を発信していると思いますか。



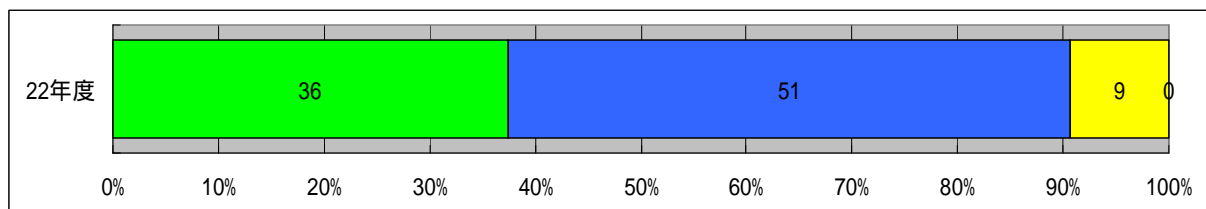
学校ホームページのアクセス数は81000件を超え、多くの方々に見ていただいているという確かな実感をもっています。毎日の給食や子どもたちの活動の様子、滝四小の行事、学校便り、給食便りなどを随時更新しています。タイムリーに更新ができるように、ホームページ作成委員会を中心に、教職員が協力して、組織をあげて作成に当たっています。

北区の事業としての「北区学校連絡メール」を本校でも本格的に運用しております。今年度は、全家庭の99%の登録を得ることができました。来年度も不審者情報、台風情報だけではなく、インフルエンザ情報、学校行事情報等を配信していきます。

4. 施設・設備

18. 安全

校舎内外が整備され、安全が確保されていると思いますか。



正門の施錠およびオートロック化により、来校の際は、インターホンで呼び出していただき、解錠するというシステムが保護者の皆様にも定着してまいりました。

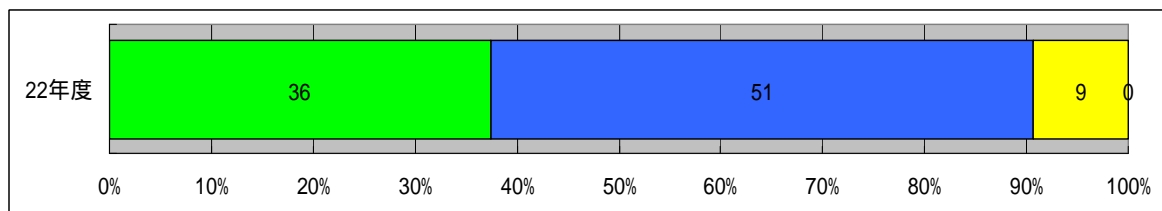
しかし、子どもたちの安全確保は正門オートロック化で万全とは言えるものではありません。登下校中や帰宅後の交通事故防止および不審者対策、学校内での事故防止等、子どもたちの安全確保については、最優先課題として取り組んでまいります。

保護者、地域の皆様には、「子ども安全ボランティア」、「こども110番」、「セーフティ教室」、「安全対策協議会」等に、一層のご協力をいただければ幸いです。

ご意見をいただきました樹木の植樹や花壇の整備については、引き続き計画的に進めていきます。

19. 施設開放

施設および校庭の開放により、学校施設が地域に有効に活用されていると思いますか。



本年度も校庭開放は、土曜、日曜、祭日のほか、水曜の午後にも実施いたしました。4月から12月まで91回実施し、のべ3247名の利用をいただいています。校庭や体育館は、地域行事や地域のスポーツクラブにも活用していただいています。現在は、剣道、子どもバレーボール、PTAバレーボール、サッカー、テニスに学校施設を開放し、ご利用をいただいています。

また、放課後遊びについても毎月の学校便りでお知らせし、大勢の子どもたちが利用しています。

来年度も、子どもたちと地域の方々が共に利用できるよう、今まで同様に学校施設を開放していきます。

20. その他

「たてわり活動（レインボー活動）」について

自由意見の中に、「人数の少ない学校ならではの縦割りの活動があったりして滝四小のよさがでていると思います。」というよい評価をいただきました。来年度も、本校の特色ある教育活動として、たてわり活動（レインボー活動）を継続し、より充実させていきます。